

私自身のことをお話ししよう



高校三年生のとき  
ラグビー部の練習中に  
背骨が折れ脊髄を損傷

下半身不随に



以来車いす生活になりました



けがをしたからといって  
自分の趣味指向も変わらない



彼女がほしい

いつかは結婚して  
家庭をもちたい

遊びたい



親の世話にならず自立したい



病院のベッドの上で考えた

この体では  
肉体労働を  
するのは  
無理だから

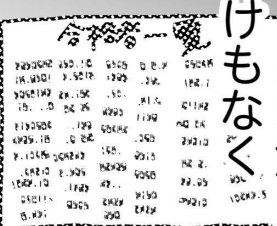


これからは  
頭を使う仕事を  
考えないといけない

とりあえず大学進学を  
目指したものの

そう簡単に  
まじめに勉強できる  
わけもなく

浪人



一浪して進学した  
大学一年の夏休み

思い切って行った  
一ヶ月の  
米国ホームステイは

人生を変える  
きっかけになりました

アメリカでは

段差なくどこにでも  
行ける 入れる

バス電車に乗れる

車いすで入れる  
大きなトイレがある



街中での好きな視線もなく

自然な風景の一つとして

車いす生活者も暮らしていた

日本に帰国するまで

自分が車いすに  
乗っていることを  
忘れていました



最初は背伸びばかりしていました

できないことを  
できるようにしたい  
普通に戻りたい

